

横須賀市ウェルシティ市民プラザ配置適正化実施計画（素案）に関する
市民との意見交換会の実施結果について

1. 横須賀市ウェルシティ市民プラザ配置適正化実施計画（素案）の概要

- ・逸見行政センター及び逸見コミュニティセンターを平成 37 年度から平成 46 年度の間にウェルシティ市民プラザに移転する。
- ・逸見行政センターは 2 階のレストランスペース等に移転する。
- ・逸見コミュニティセンターは 2 階の生涯学習センター市民ホール、5 階の調理講習室 美術工芸室等へ移転する。
- ・5 階の生涯学習センター大学習室、第 1 ~ 3 学習室、図書室、音楽室等は生涯学習センターとして現行の機能を維持する。

2. 市民との意見交換会の実施結果について

横須賀市ウェルシティ市民プラザ配置適正化実施計画（素案）に対する市民、利用者のご意見等を伺うため意見交換会を実施した。

（1）開催状況

回	日 時	場 所	参加人数	意見等数
1	9 月 11 日(日) 14:00~15:30	ウェルシティ市民プラザ 3 階 第 1 研修室	17 人	29 件
2	9 月 26 日(月) 19:00~20:30	ウェルシティ市民プラザ 3 階 第 1 研修室	14 人	34 件
計	—	—	31 人	63 件

（2）意見交換会実施の周知方法

- ・広報よこすか 9 月号、市ホームページ、まなびかんニュース 9 月号に掲載
- ・逸見行政センター管内の町内会・自治会へのお知らせ回覧、その他

(3) 主な市民意見等

No.	市民意見等
1	逸見コミュニティセンターとウェルシティ市民プラザの機能が重複すると（されているが、両者は）目的が違う。生涯学習センターは、有料でも利用する方がいたり、市民大学に参加する人がいたりと文化を大切にしていると感じる。 (二つの) 違った文化が一緒になると文化の質が落ちると思う。「文化都市」として条例もある中で一緒にすることには反対する。
2	(市民大学の開催等) 生涯学習センターが社会教育向上（の使命）を担っているとは思う。しかし、(利用者の) 活動内容によって選別するべきではない。施設の使命ではなく、市民の利用実態に合わせて利用できるようにもっと利用者の声を聞くべき。
3	体操で生涯学習センターの市民ホールを使っている。駅に近いことが魅力だと感じている。生涯学習センターの職員も感じが良い。今までと同様に利用できれば、移転には賛成する。
4	(資料の作り込みにおいて、生涯学習センターや逸見コミュニティセンターの一部など) 縮減するものは縮減すると明記した方がいい。そうでなければだまされたような気持ちになる。 貸室を利用する時間は集中していて、より競争率は高くなる。利用者側の工夫も必要と思う。影響が少ないようにお互いに工夫していくべき。
5	(利用の希望が) 集中する部屋・時間があると思う。(資料に) 利用率だけ示されても誤解を招く。(もっとわかりやすい資料で丁寧に説明すべき。)

※ () 内の表記は本資料作成時に追補

この他に施設配置適正化計画全般に関すること、逸見行政センターの取扱いに関すること、市民意見を計画作成に反映させること等に関して 58 件のご意見をいただいた。

3. 横須賀市ウェルシティ市民プラザ施設配置適正化計画の今後の予定について

- ・平成 28 年第 4 回市議会定例会教育福祉常任委員会・生活環境常任委員会
⇒ 意見交換会の意見等を踏まえて素案を修正し報告する。
- ・平成 29 年 1 月公共施設適正化推進本部（会議）
⇒ 施設配置適正化実施計画を決定する。
- ・平成 29 年第 1 回市議会定例会教育福祉常任委員会・生活環境常任委員会
⇒ 決定した施設配置適正化実施計画を報告する。